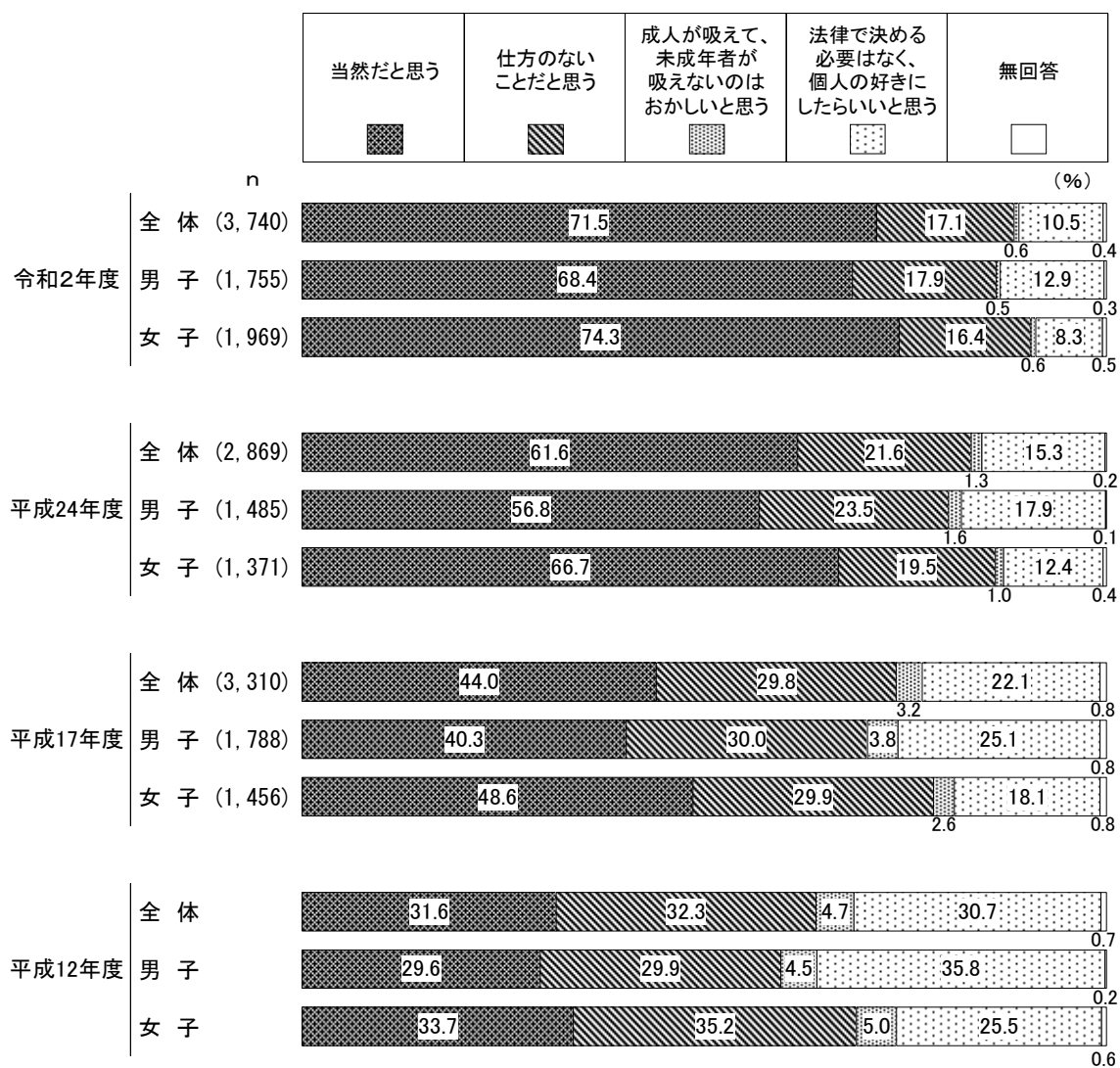


3. 喫煙

(1) 未成年者の喫煙意識

問13 未成年者の喫煙禁止をどう思いますか。

図表3-1-1 未成年者の喫煙意識（経年比較）



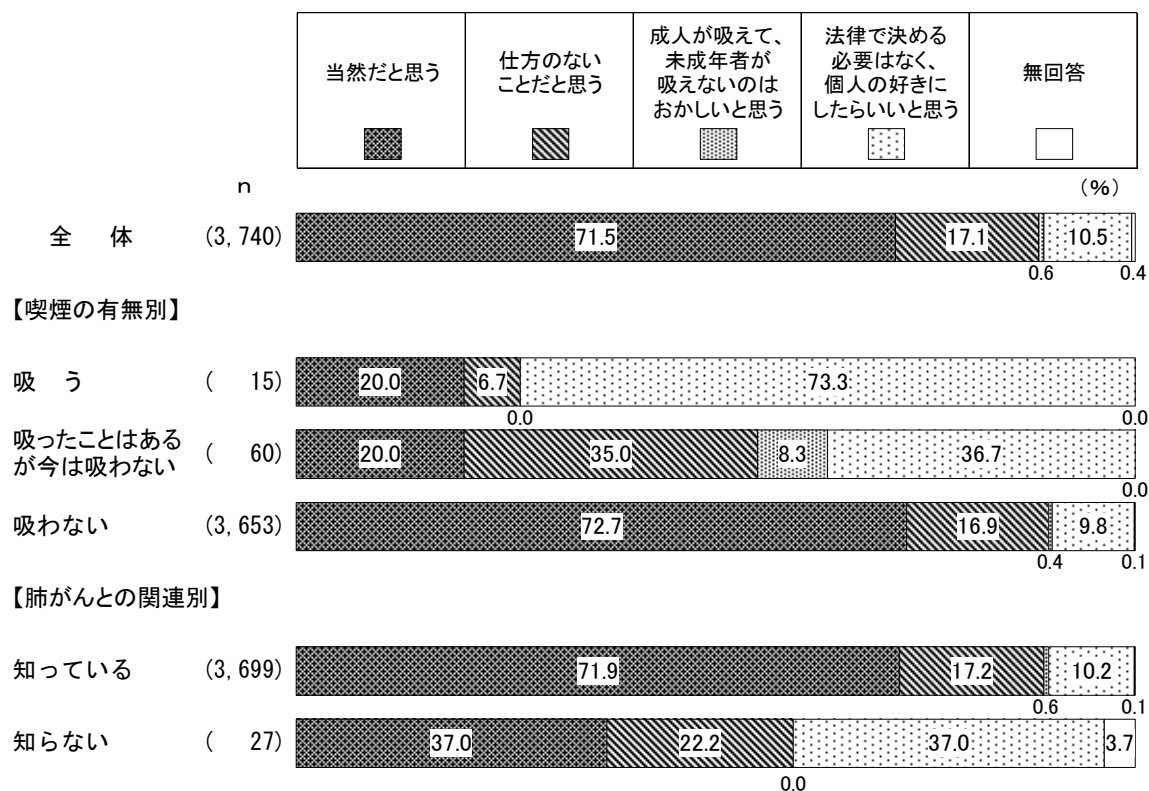
未成年者の喫煙禁止について聞いたところ、「当然だと思う」が71.5%で最も高く、次いで「仕方のないことだと思う」（17.1%）、「法律で決める必要はなく、個人の好きにしたらいいと思う」（10.5%）、「成人が吸えて、未成年者が吸えないのはおかしいと思う」（0.6%）となっている。

男女別でみると、「当然だと思う」は女子（74.3%）が男子（68.4%）より5.9ポイント高くなっている。一方、「法律で決める必要はなく、個人の好きにしたらいいと思う」は男子（12.9%）が女子（8.3%）より4.6ポイント高くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では「当然だと思う」は平成24年度より9.9ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。

男女別では「当然だと思う」は平成24年度より男子で11.6ポイント、女子で7.6ポイント、それぞれ増加している。

図表 3-1-2 未成年者の喫煙意識（喫煙の有無別、肺がんとの関連別）



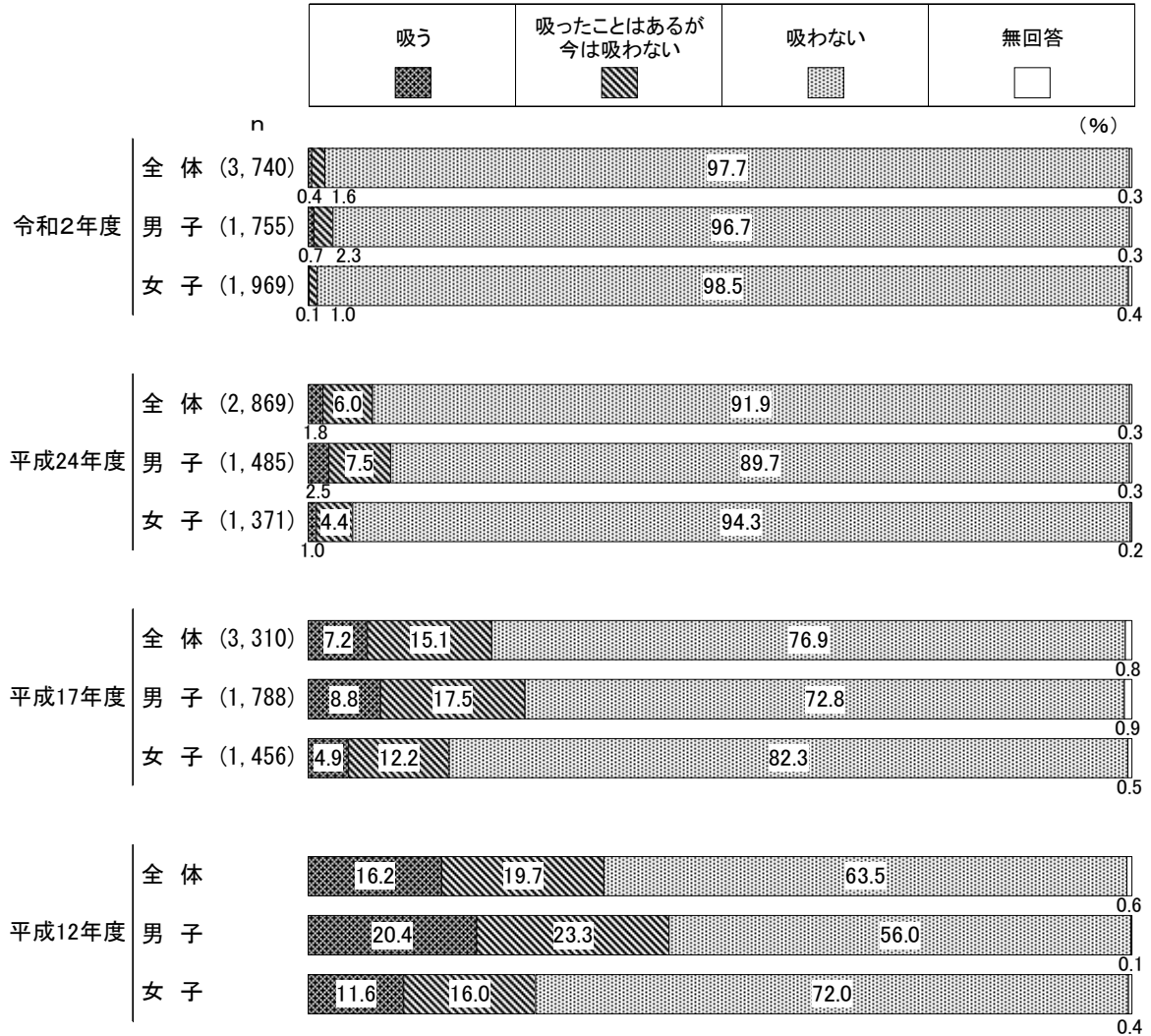
喫煙の有無別で見ると、「当然だと思う」は「吸わない人」で72.7%と高くなっている。

肺がんとの関連別で見ると、「当然だと思う」は「知っている人」(71.9%)が「知らない人」(37.0%)より34.9ポイント高くなっている。一方、「法律で決める必要はなく、個人の好きにしたらいいと思う」は「知らない人」(37.0%)が「知っている人」(10.2%)より26.8ポイント高くなっている。

(2) 喫煙の有無

問14 あなたは、たばこを吸いますか、また吸う方は一日平均何本吸いますか。

図表3-2-1 喫煙の有無（経年比較）



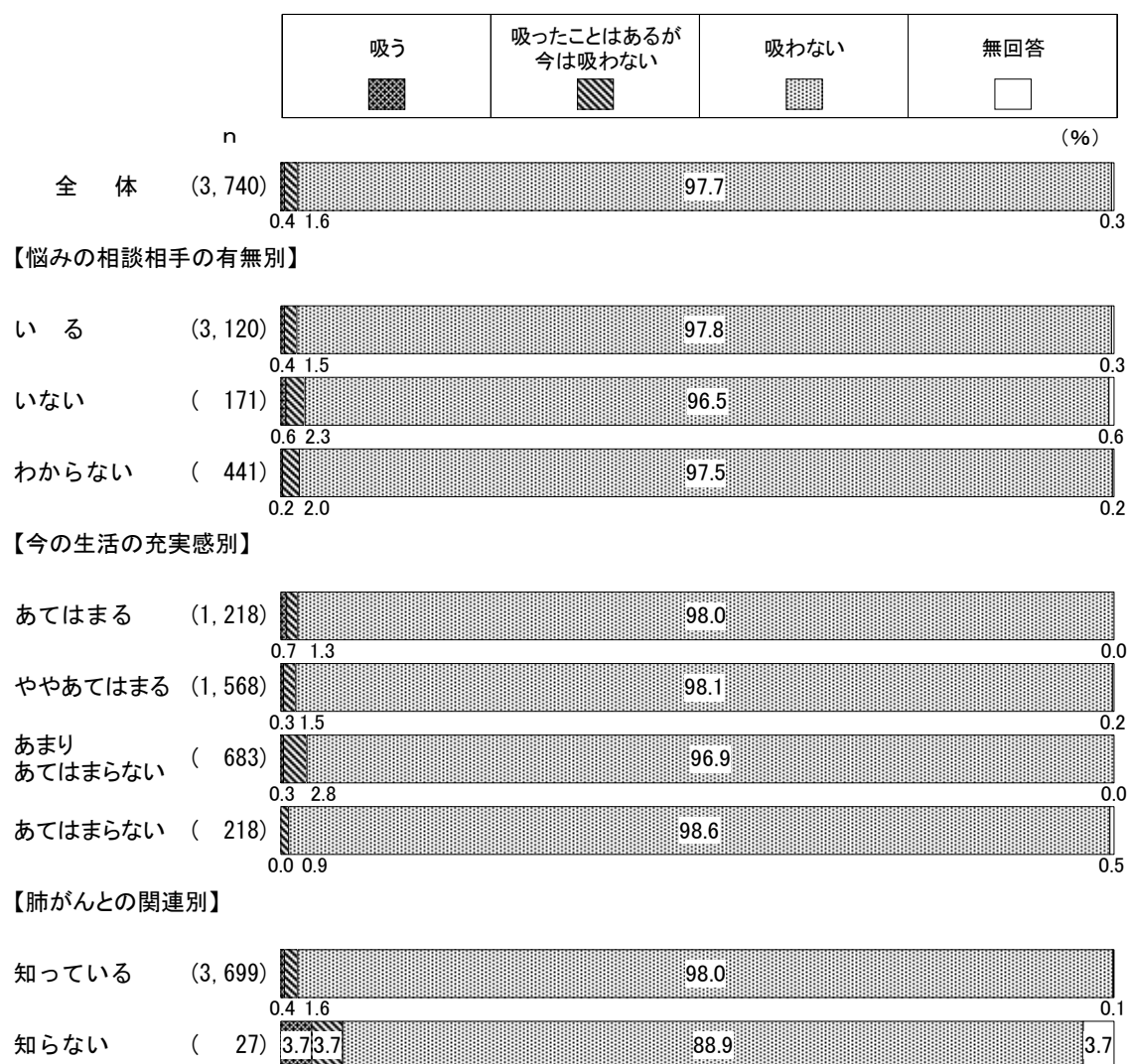
たばこを吸うか聞いたところ、「吸う」が0.4%、「吸ったことはあるが今は吸わない」は1.6%となっている。一方、「吸わない」は97.7%となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

過去の調査と比較すると、全体では「吸わない」は平成24年度より5.8ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。一方、「吸ったことはあるが今は吸わない」は平成24年度より4.4ポイント減少している。

男女別では「吸わない」は平成24年度より男子で7.0ポイント、女子で4.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「吸ったことはあるが今は吸わない」は平成24年度より男子で5.2ポイント、女子で3.4ポイント、それぞれ減少している。

図表 3-2-2 喫煙の有無（悩みの相談相手の有無別、今の生活の充実感別、肺がんとの関連別）



悩みの相談相手の有無別で見ると、大きな違いはみられない。

今の生活の充実感別で見ると、大きな違いはみられない。

肺がんとの関連別で見ると、「吸わない」は“知っている人”（98.0%）が“知らない人”（88.9%）より 9.1 ポイント高くなっている。

(2-1) 1日あたりの平均喫煙本数

問14 あなたは、たばこを吸いますか、また吸う方は一日平均何本吸いますか。

図表3-2-3 1日あたりの平均喫煙本数（経年比較）

	令和2年度	平成24年度	平成17年度	平成12年度
全 体	17.9本 (15人)	15.2本 (44人)	11.9本 (236人)	10.9本
男 子	20.2本 (13人)	15.3本 (33人)	13.1本 (157人)	12.3本
女 子	3.0本 (2人)	15.0本 (11人)	9.1本 (71人)	6.8本

たばこを「吸う」と答えた人（15人）に、1日あたりの平均喫煙本数を聞いたところ、17.9本となっている。

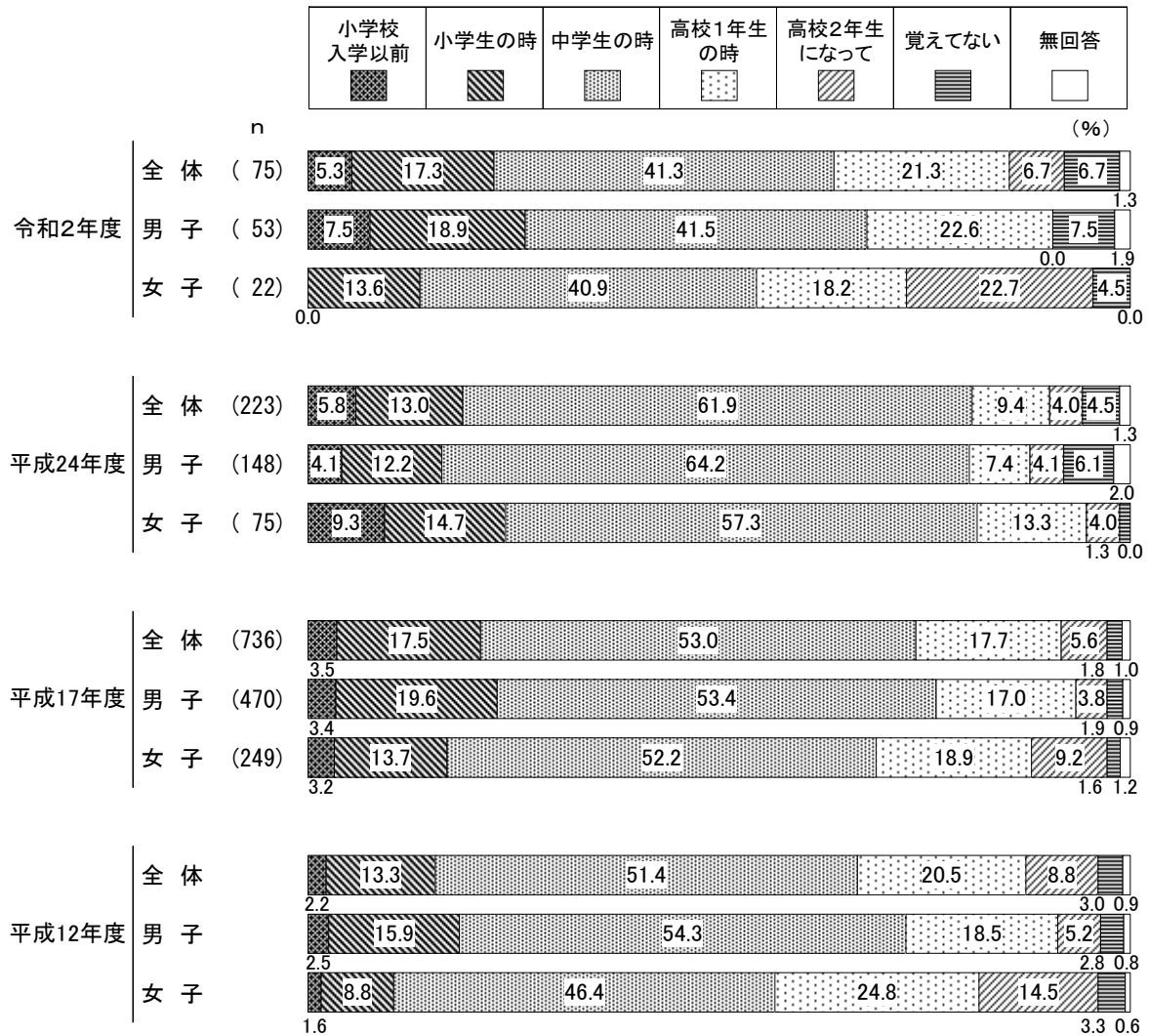
男女別でみると、男子では20.2本、女子では3.0本となっており、男子が女子より17.2本多くなっている。

過去の調査と比較すると、全体では1日あたりの平均喫煙本数は平成12年度以降増加傾向にある。男女別では1日あたりの平均喫煙本数は平成24年度より男子で4.9本増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。

(3) 初めての喫煙時期

問14で「吸う」または「今は吸わない」と答えた方へ
問14-1 初めて吸ったのはいつですか。

図表3-3-1 初めての喫煙時期（経年比較）



たばこを「吸う」または「今は吸わない」と答えた人（75人）に、初めて吸ったのはいつか聞いたところ、「中学生の時」が41.3%で最も高く、次いで「高校1年生の時」（21.3%）、「小学生の時」（17.3%）となっている。

男女別で見ると、「高校2年生になって」は女子（22.7%）が男子（0.0%）より22.7ポイント高くなっている。一方、「小学校入学以前」は男子（7.5%）が女子（0.0%）より7.5ポイント高くなっている。

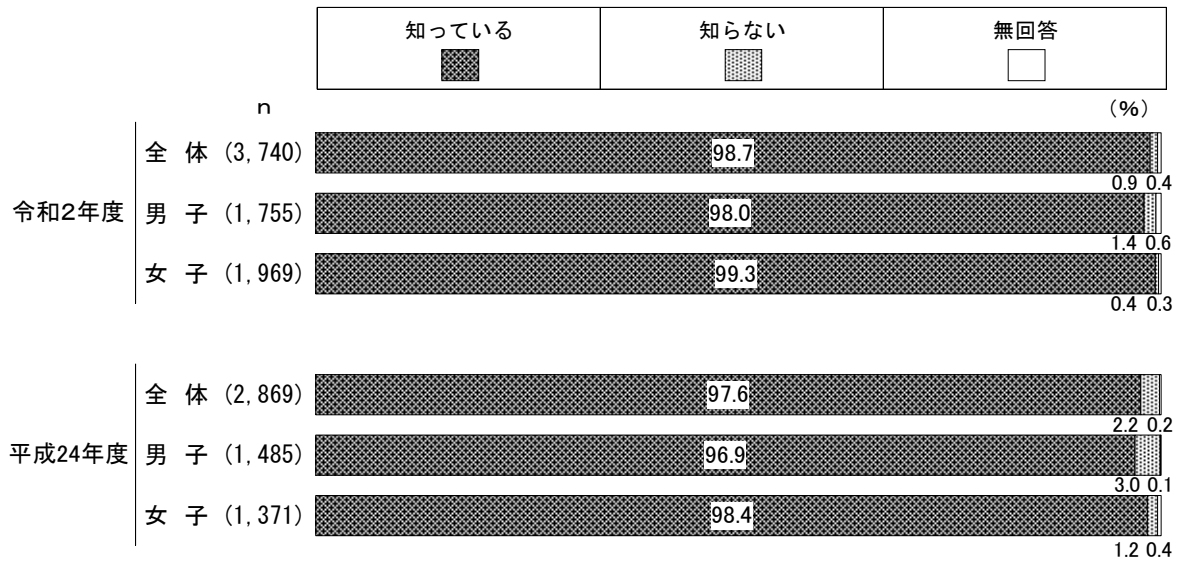
過去の調査と比較すると、全体では「高校1年生の時」は平成24年度より11.9ポイント増加している。一方、「中学生の時」は平成24年度より20.6ポイント減少している。

男女別では「高校1年生の時」は平成24年度より男子で15.2ポイント、「高校2年生になって」は平成24年度より女子で18.7ポイント、それぞれ増加している。

(4) 心や体への影響についての認知

問15 たばこを吸うことによる心や身体への悪い影響について知っていますか。

図表3-4-1 心や体への影響についての認知（経年比較）

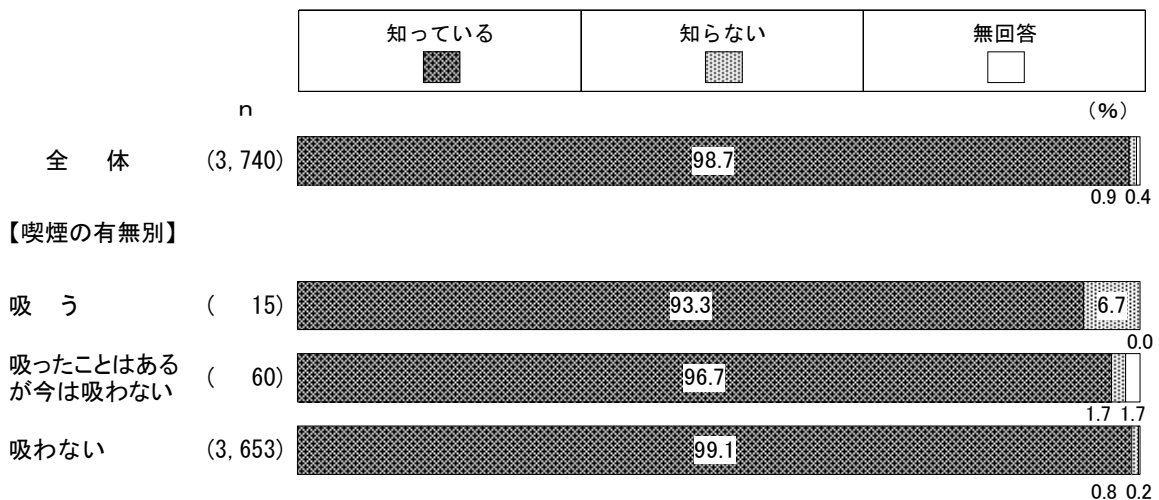


たばこを吸うことによる心や身体への悪い影響について聞いたところ、「知っている」が98.7%、「知らない」は0.9%となっている。

男女別で見ると、男女間で大きな違いはみられない。

過去の調査と比較すると、全体、男女別ともに大きな傾向の変化はみられない。

図表3-4-2 心や体への影響についての認知（喫煙の有無別）

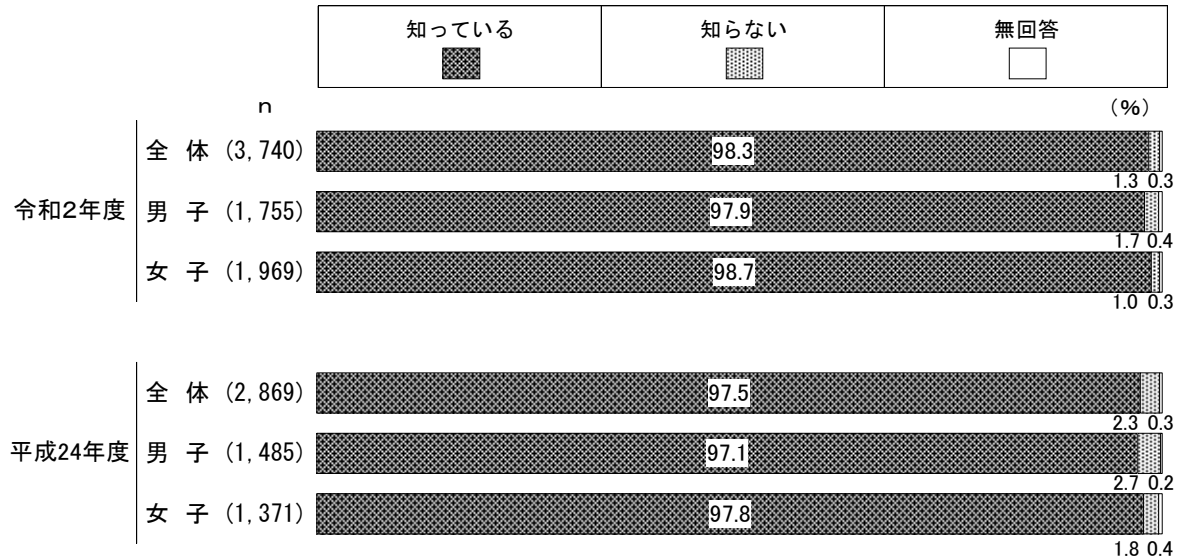


喫煙の有無別で見ると、「知っている」は“吸わない人”で99.1%と高くなっている。

(5) 受動喫煙による健康への悪い影響

問16 受動喫煙（他人のたばこの煙を吸わされること）による健康への悪い影響について知っていますか。

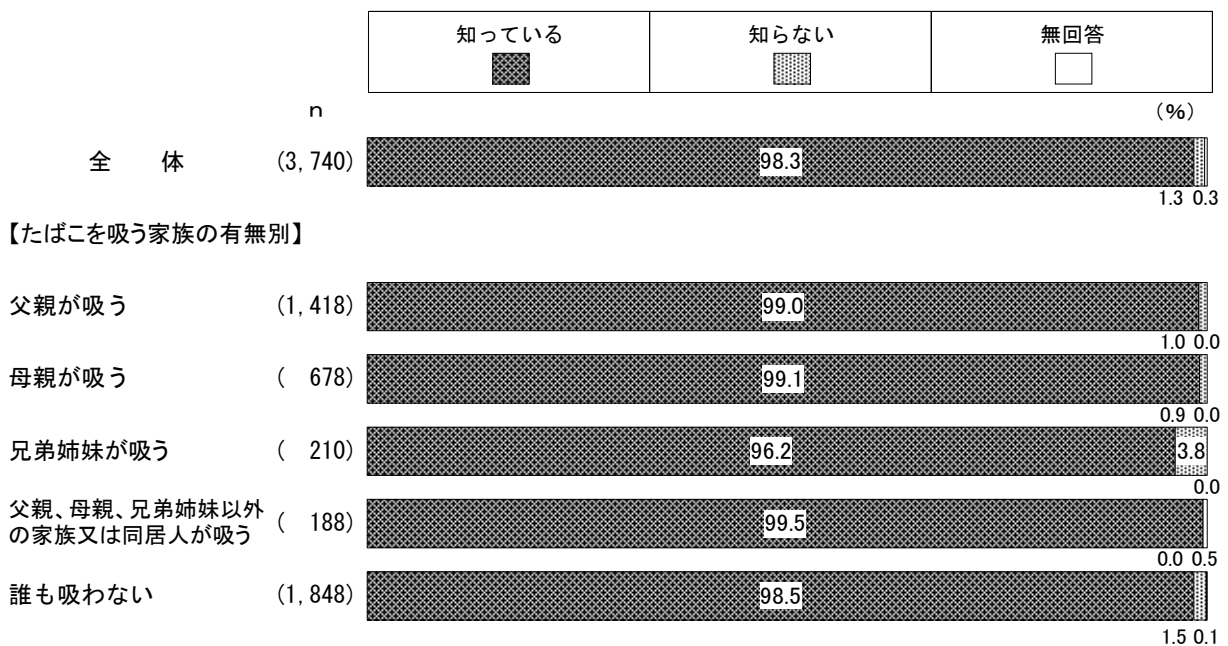
図表3-5-1 受動喫煙による健康への悪い影響（経年比較）



受動喫煙による健康への悪い影響について聞いたところ、「知っている」が98.3%、「知らない」は1.3%となっている。

男女別では大きな違いは見られず、過去の調査との比較では、大きな傾向の変化はない。

図表3-5-2 受動喫煙による健康への悪い影響（たばこを吸う家族の有無別）

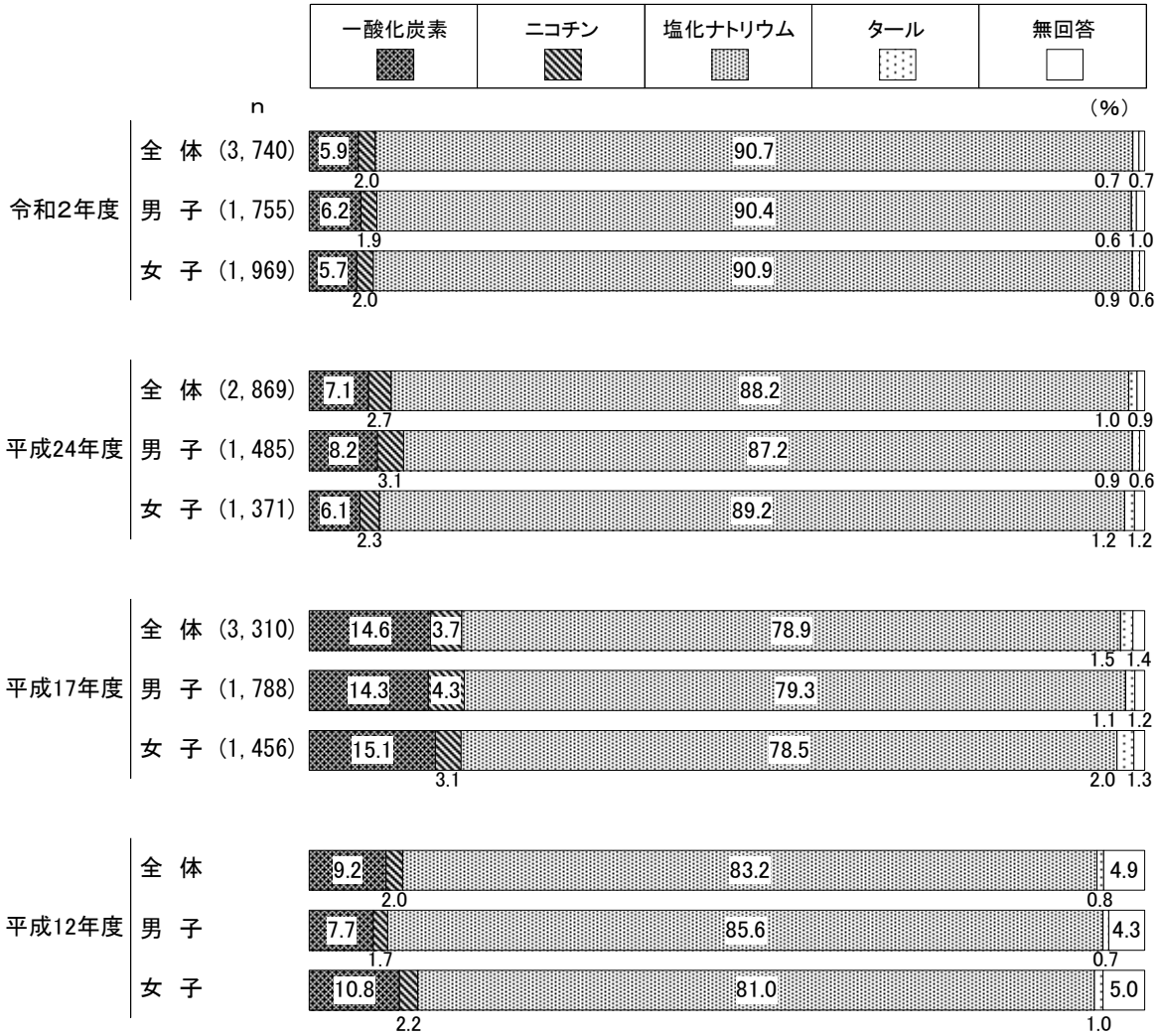


たばこを吸う家族の有無別でみると、大きな違いはみられない。

(6) 煙の成分

問17 たばこの煙に含まれない成分は次のうちどれだと思いますか。

図表 3-6-1 煙の成分（経年比較）



たばこの煙に含まれない成分を聞いたところ、「塩化ナトリウム」が90.7%で最も高く、次いで「一酸化炭素」(5.9%)、「ニコチン」(2.0%)、「タール」(0.7%)となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

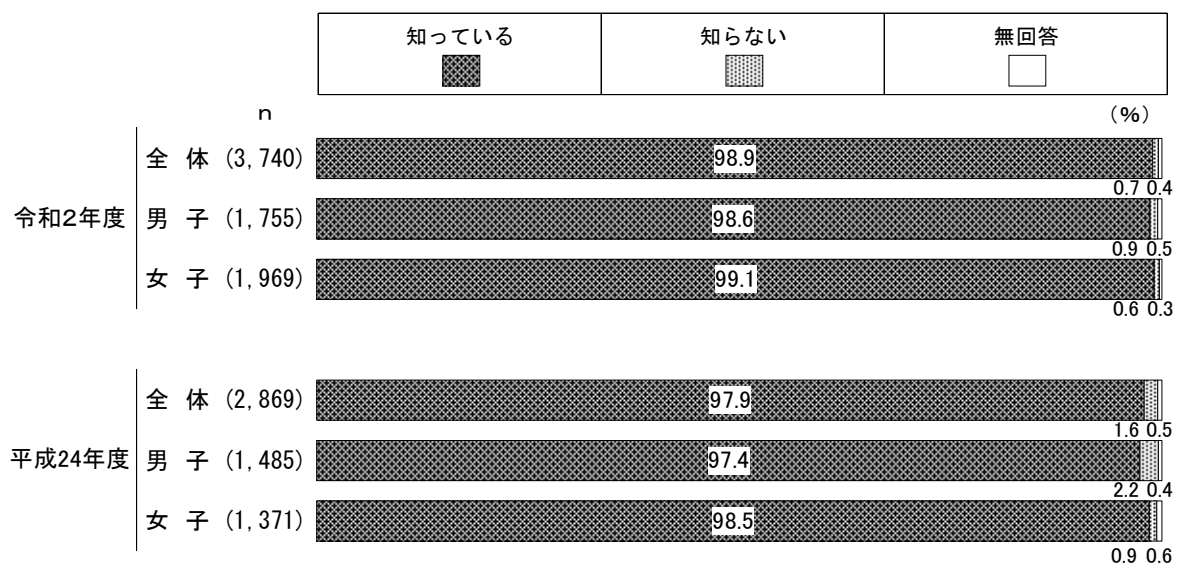
過去の調査と比較すると、全体では大きな違いはみられない。

男女別では「塩化ナトリウム」は平成24年度より男子で3.2ポイント増加している。

(7) 肺がんとの関連

問18 たばこは、将来、肺がんなどになる危険率が高いとされていることを知っていますか。

図表3-7-1 肺がんとの関連（経年比較）



たばこは、将来、肺がんなどになる危険率が高いとされていることを知っているか聞いたところ、「知っている」が98.9%、「知らない」は0.7%となっている。

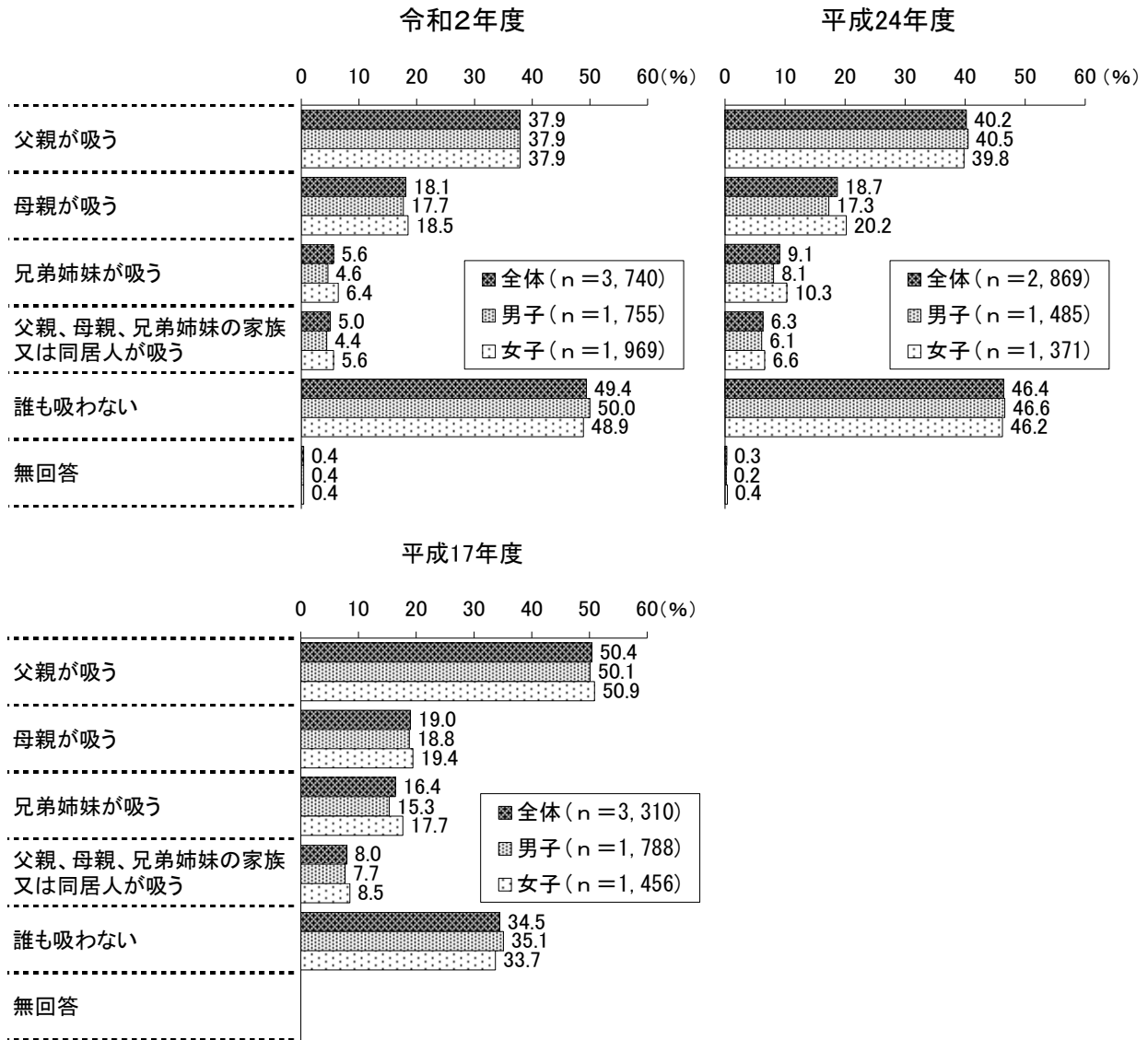
男女別で見ると、男女間で大きな違いはみられない。

過去の調査と比較すると、全体、男女別ともに大きな傾向の変化はみられない。

(8) たばこを吸う家族の有無

問19 家族の方はたばこを吸いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表 3-8-1 たばこを吸う家族の有無（経年比較）〔複数回答〕



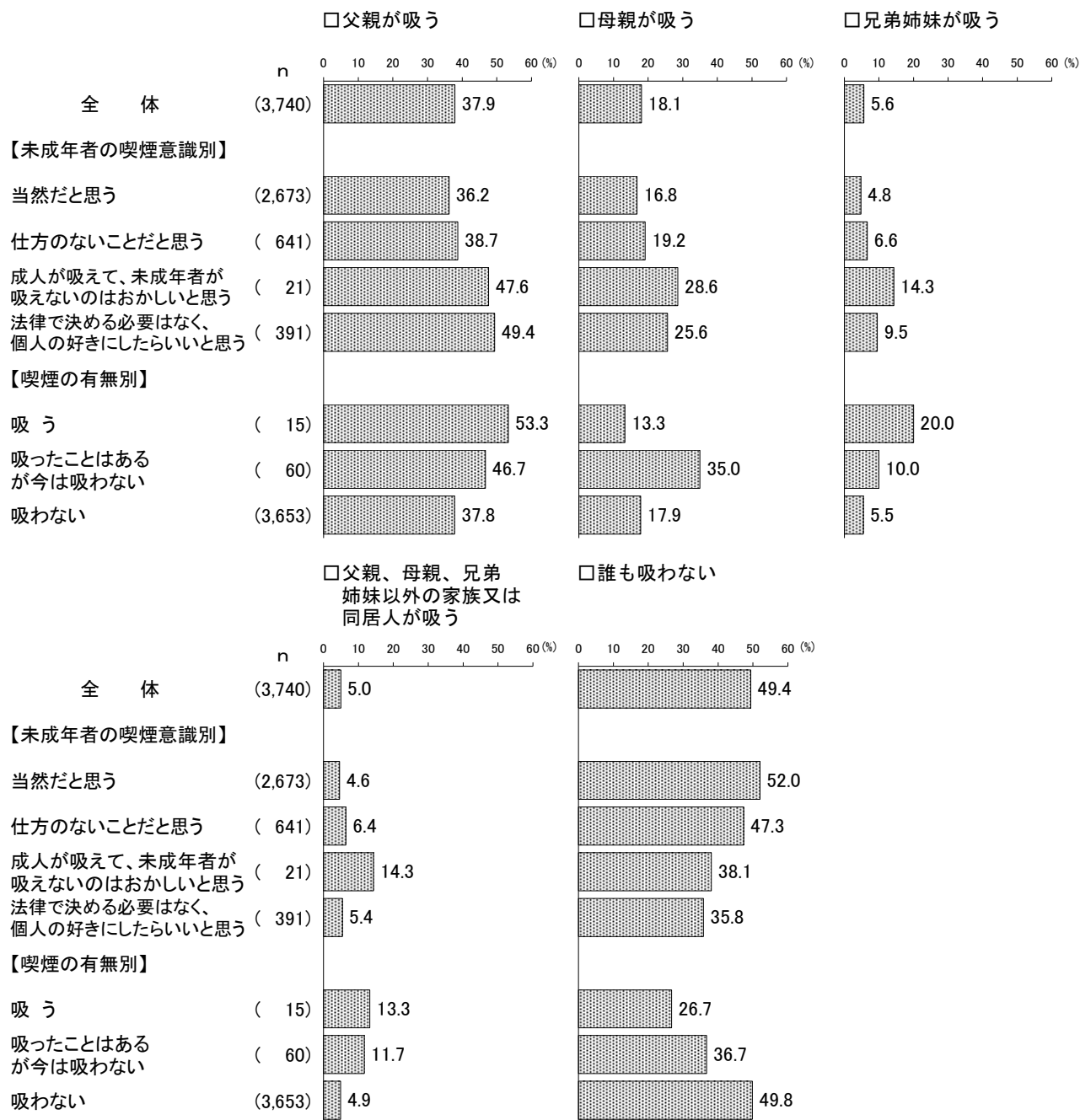
家族の方はたばこを吸うか聞いたところ、「誰も吸わない」が49.4%で最も高く、次いで「父親が吸う」（37.9%）、「母親が吸う」（18.1%）、「兄弟姉妹が吸う」（5.6%）となっている。

男女別でみると、男女間で大きな違いはみられない。

過去の調査と比較すると、全体では「誰も吸わない」は平成24年度より3.0ポイント増加しており、平成17年度以降増加傾向にある。一方、「兄弟姉妹が吸う」は平成24年度より3.5ポイント減少している。

男女別では「誰も吸わない」は平成24年度より男子で3.4ポイント増加している。一方、「兄弟姉妹が吸う」は平成24年度より男子で3.5ポイント、女子で3.9ポイント、それぞれ減少している。

図表3-8-2 たばこを吸う家族の有無（未成年者の喫煙意識別、喫煙の有無別）



未成年者の喫煙意識別でみると、「父親が吸う」は“法律で決める必要はなく、個人の好きにしたらいいと思う”で49.4%と高くなっている。「母親が吸う」は“成人が吸えて、未成年者が吸えないのはおかしいと思う”で28.6%と高くなっている。「誰も吸わない」は“当然だと思う”で52.0%と高くなっている。

喫煙の有無別でみると、「母親が吸う」は“吸ったことはあるが今は吸わない人”で35.0%と高くなっている。「誰も吸わない」は“吸わない人”で49.8%と高くなっている。